

たからざか



当院の理念：良質で高度な医療を提供し
住民に愛される病院を目指します。

大牟田市宝坂町2丁目19番地1
TEL 0944-53-1061

HP <http://www.ghp.omuta.fukuoka.jp/>



薬剤部より

《 薬剤部業務紹介 》

当院では、医療の質を高め安全を確保するために、多職種が協働して患者さんに関わるチーム医療を推進しています。薬剤師もチーム医療の一員として、様々な業務の中で専門性を発揮しています。

入院患者さんへの関わり

病棟専任薬剤師を配置し、入院中に服用されているお薬を調査して、薬の効果・用法・用量・副作用・使用上の注意などの説明を実施しています。手術のある一部の診療科では、ご入院される前に服用されているお薬を確認して、サプリメントも含む休薬が必要なものを医師や関係スタッフへ情報提供しています。

抗がん剤治療をする患者さんへの関わり

当院は、南筑後地区の地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線療法と並んで抗がん剤による治療が盛んに行われています。薬剤師は、その安全性を高めるため、処方内容、用量や副作用などのチェックをはじめ、患者さんに適切な治療を受けていただけるように薬に関する様々な説明を行っています。

薬剤部スタッフ間でカンファレンスを行い、患者さんの情報共有や意見交換を行い、複数人で確認をしています。さらに、学会や外部での勉強会に積極的に参加することで、安心安全な薬物療法を行えるように努力しています。

お薬のことでご相談があれば、お気軽に薬剤師へお声かけください。



薬剤部全員集合です



患者さんへお薬の説明中です

大牟田市立病院科別外来担当医師一覽表

(令和2年7月1日現在)

1/2

外来受付1	●内科 ※下線は初診担当 ※血液内科のみ予約制					
	診察室	月	火	水	木	金
	02	坂田 研二	森田 拓	河野 隆	河野 克俊	豊増 克俊
	03	桑野 徹	林 大樹	林 大樹	大崎 浩一	毛利 文彦
	12		吉尾 智一			河野 隆
	●循環器内科 ※下線は初診担当 ※ペースメーカー外来(火曜午後1時【予約制】)					
	診察室	月	火	水	木	金
	11	紫原美和子	紫原美和子	紫原美和子	山本 茉世	大地 祐輔
	13	山本 茉世	大地 祐輔	大地 祐輔	紫原美和子	山本 茉世
	●腎臓内科 ※下線は初診担当					
	診察室	月	火	水	木	金
	04	乙咩 崇臣	甲斐田裕介		田中 将博	柴田 了
	12・15	田中 将博	乙咩 崇臣		乙咩 崇臣	田中 将博
	●内分泌代謝科 ※下線は初診担当 ※予約制					
	診察室	月	火	水	木	金
05	徳淵 市朗	春田 寛子	徳淵 市朗	徳淵 市朗	徳淵 市朗	
14	田中 佳世	田中 佳世	田中 佳世	田中 佳世	春田 寛子	
15				村石 和久		
●放射線治療科 ※予約制						
診察室	月	火	水	木	金	
午前	辻 千代子	辻 千代子	辻 千代子	辻 千代子	村木宏一郎	
午後	辻 千代子	辻/村木	辻 千代子	辻 千代子	明田 亮輔	

外来受付2	●消化器病センター ※下線は初診担当					
	診察室	月	火	水	木	金
	21(内科)	河野 克俊	野口 和典	森田 拓	野口 和典	坂田 研二
	22(内科)	豊増 靖	宮崎 健	吉尾 智一	豊増 靖	桑野 徹
	24(内科)	林 大樹	河野 克俊	坂田 研二	宮崎 健	森田 拓
	●脳神経外科 ※初診担当決まりなし ※予約制					
	診察室	月	火	水	木	金
	33			江藤 朋子		江藤 朋子
	34	倉本 晃一	倉本 晃一			倉本 晃一
	●脳卒中センター					
診察室	月	火	水	木	金	
31	山下 伸		山下 伸	山下 伸		

外来受付3	●整形外科 ※初診担当決まりなし					
	診察室	月	火	水	木	金
	42	高田 寛史	秋吉 寿	高田 寛史	秋吉 寿	阿部隆之介
	43	坂井 健介	坂井 健介	秋吉 寿		坂井 健介
	44		高田 寛史			大作 明広
	●産婦人科 ※下線は初診担当 ※予約制					
	診察室	月	火	水	木	金
	52	交替制	井上 麻実	河野 亮介	深川 知明	堀 洋暢
	53	交替制	深川 知明	井上 麻実	堀 洋暢	河野 亮介
	54 助産師外来	妊婦健診	妊婦健診	妊婦健診	妊婦健診	妊婦健診
		産後2週間健診			産後1ヵ月健診	

外来受付4	●小児科 ※初診担当決まりなし					
	診察室	月	火	水	木	金
	02	上杉 達	上杉 達	上杉 達	上杉 達	上杉 達
	03	石原 潤	石原 潤		石原 潤	石原 潤
	04	村上義比古	村上義比古	村上義比古	村上義比古	村上義比古
	●耳鼻咽喉科 ※初診担当決まりなし ※予約制					
	診察室	月	火	水	木	金
	11	温 光太郎	温 光太郎		温 光太郎	温 光太郎
	12	関 正大	関 正大		関 正大	関 正大

大牟田市立病院科別外来担当医師一覽表 (令和2年7月1日現在) 2/2

外来受付5

●泌尿器科 ※下線は初診担当 ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
23	末金 宏基	末金 宏基	末金 宏基	末金 宏基	末金 宏基
24	川越 伸俊	野口 正典	川越 伸俊	川越 伸俊	川越 伸俊
25		川越 伸俊			

●眼科 ※初診担当決まりなし ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
31	岡 龍彦	岡 龍彦	岡 龍彦	岡 龍彦	
			久留米大学医師		久留米大学医師

外来受付6

●精神科 ※初診受付はしていません。 ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
55	松岡美智子	児玉 英也	中村 倫之	冨松健太郎	

●形成外科 ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
52	山内 大輔	山内 大輔	山内 大輔	山内 大輔	山内 大輔

●皮膚科 ※初診担当決まりなし ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
41	松田 光弘	松田 光弘	松田 光弘		松田 光弘
44	白濱 稔大	白濱 稔大	白濱 稔大	白濱 稔大	

外来受付7

●外科 ※初診担当決まりなし ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
01	末吉 晋			四方田隆任	末吉 晋
02	谷脇 慎一	永松 佳憲	笹原 弘子	津福 達二	谷口 寛子
03	衛藤 大明	名嘉眞陽平			
11				永松 佳憲	

●血管外科 ※初診担当決まりなし ※予約制

診察室	月	火	水	木	金
01		吉田 尚平	吉田 尚平		

●麻酔科

診察室	月	火	水	木	金
11	山田阿貴子				山田阿貴子

●健診センター

診察室	月	火	水	木	金
1	津福 久恵	津福 久恵	津福 久恵	津福 久恵	津福 久恵

新任医師のご紹介

当院で勤務する事になりました医師をご紹介します。



耳鼻咽喉科

温 光太郎

出身地: 熊本県熊本市
趣味: マリンスポーツ



内科

河野 隆

出身地: 福岡県みやま市
趣味: クラシック鑑賞



健診センター

津福 久恵

出身地: 埼玉県上尾市
趣味: 音楽鑑賞



放射線治療科

辻 千代子

出身地: 福岡県久留米市

どうぞよろしくお願いたします。

腎性貧血について



腎臓内科 部長 田中 将博

皆さん、貧血と腎臓には密接な関係があることはご存知でしょうか？

貧血とは？

血液の中の赤血球(RBC)や、その中の色素が減った状態を言います。その色素のことをヘモグロビン(Hb)と言います。赤血球やヘモグロビンは、全身に酸素を運ぶ働きをしているので、不足すると酸素が足りない状態になり、めまいや息切れなどの症状が現れます。

当院での正常値(女性の正常値)

RBC 4.35~5.55(38.6~4.92)【 $10^6/\mu\text{L}$ 】

Hb 13.7~16.8(11.6~14.8)【g/dL】

Ht 40.7~50.1(35.1~44.4)【%】

では、貧血と言っても原因はいくつか挙げられますので、簡単に説明させていただきます。

・赤血球やヘモグロビン(Hb)を作ることが出来ない。

この中には、①材料不足:鉄分の欠乏(鉄欠乏性貧血)、ビタミンB12、葉酸欠乏(巨赤芽球性貧血、悪性貧血)、②赤血球の源となる幹細胞異常(赤芽球癆、骨髓異形成症候群)、③何らかの原因で正常な赤血球が作れない:腎性貧血、がんなどの悪性腫瘍、関節リウマチなどの自己免疫疾患、慢性炎症などがあります。

・赤血球やヘモグロビン(Hb)が出て行ってしまう。

慢性の出血:消化管出血、女性の過多月経、痔核など

・赤血球やヘモグロビン(Hb)が壊されてしまう。

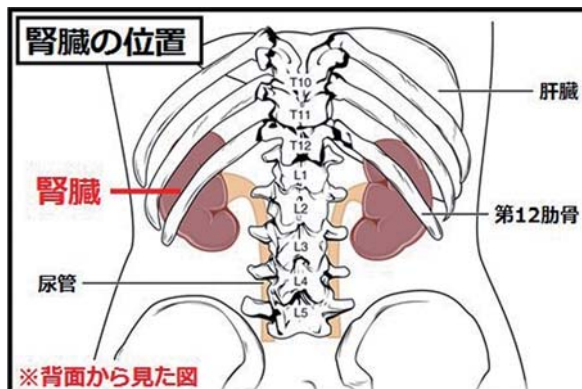
溶血性貧血、発作性夜間血色素尿症、肝硬変、過度な運動など

・血液が薄まる。

妊娠後期、大量の点滴投与など

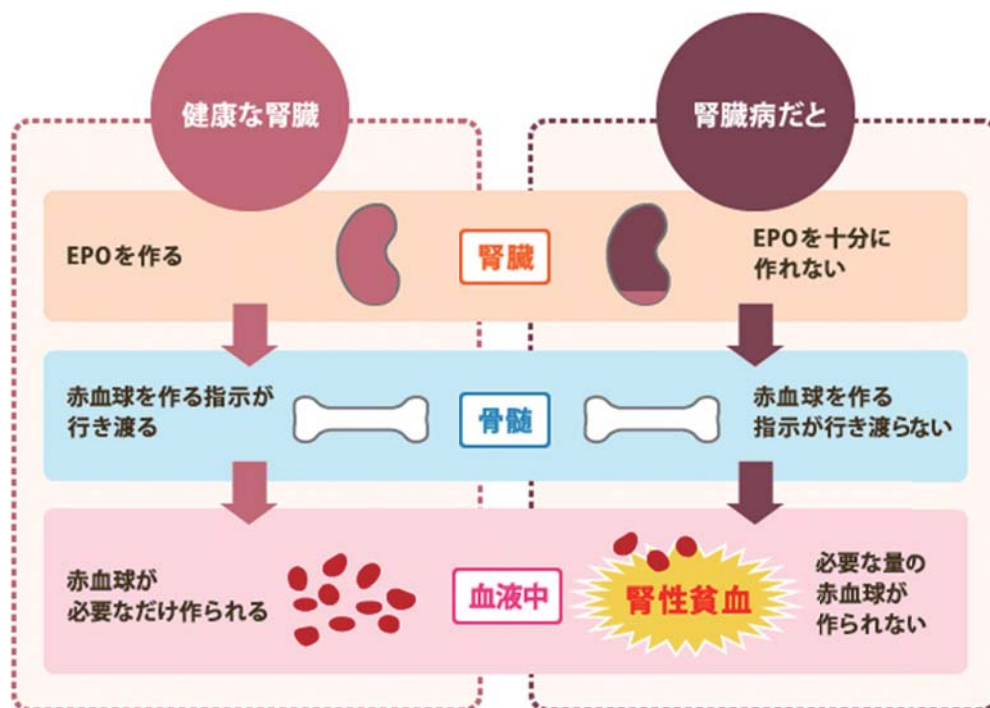
この中に、腎性貧血も含まれていましたね。では次に、腎臓が体の中でどんな機能を担っているかご存知でしょうか？こちらも簡単に説明させていただきます。

腎臓は、第12胸椎から第3腰椎の高さあたりに、左右1個ずつあります。大体自分の握りこぶしくらい、100g前後と言われています。臓器100gあたりの血流量を比較すると、腎臓が最も多いと言われ、安静時の必要とする血流量(mL/分/100g)は腎臓420、心臓80、肝臓60、脳54と言われています。ですので左右の腎臓で必要な血流量は約1,000mL/分となり、腎血流量は心拍出量の約1/5に相当します。貧血になると血液が運ぶことのできる酸素量が低下します。腎臓は多くの酸素とエネルギーを必要とする貧血に敏感な臓器なのです。



その機能には、①老廃物を排泄する、②尿の濃縮機構を使って体内の水分量を調節、③塩分やカリウムなどの電解質と呼ばれる物質の濃度を調整、④体内の酸塩基バランスの調整、⑤内分泌機能：血圧を調節するホルモンや造血ホルモン(エリスロポエチン)の産生⑥骨代謝：ビタミンD3の活性化、リン排泄にも関与、と多岐にわたります。

ここから貧血と腎臓のお話に戻りますが、慢性腎臓病(CKD)になって徐々に腎臓の機能が落ちてくると、前述したそれぞれの機能も落ちていきます。つまり、腎機能低下→造血ホルモン産生低下→造血量が低下→貧血になってしまうのです。



治療はどうするの？

慢性腎臓病は、慢性とつくように数年かけて病状が進んでいますので、正常な腎機能に戻ることはできません。以前は高度の貧血になると定期的に輸血を行っていたので大変でした。しかし、現在は造血ホルモンが生成できるようになったので、月に1回程度定期的に注射(皮下注射、静脈注射)をすることで、ほぼ輸血を行うことなく治療ができます。最新のものは経口造血剤も発売されていますが、まだ透析患者さんへの投与しか認められておらず、今後適応は拡大される予定です。

治療開始の目安は？

一般的にeGFR:60ml/minを切ってくる、CKD Grade3に入ると腎性貧血を認めるようになる方も出てこられます。そのような方でHb:10g/dL前後であれば、その際にはまず主治医の先生にご相談いただくか、腎臓専門医へご相談いただく事をお勧めします。

豆知識 (/ω\)

欧米ではエリスロポエチンの名称は1948年にBonsdorffらが初めて提唱したと言われていましたが、実は1936年に熊本医科大学の小宮悦造教授がすでに提唱していたと言われていています。また、エリスロポエチンの精製に初めて成功したのは、1977年に熊本大学の宮家隆次博士らと言われていています。この技術が現在の造血剤の礎になっています。身近なところで凄い発見がされています。本当に日本人の研究者には偉大な先生方がいらっしゃいますね。

じんましんについて



皮膚科 医長 まつ だ 松田 みつ ひろ 光弘

● じんましんってどんな病気ですか？

じんましんは、突然、赤みをもった小さな皮膚のふくらみができる病気です。このふくらみは、いつの間にか消えるのですが、別の場所に現れてはまた消えることを繰り返します。またかゆみをもつことが多いので、症状が長引く患者さんにとってはつらい病気です。じんましんは、4～5人に1人が一生のうち一度は経験するといわれています。



↑ じんましんの写真

公益社団法人日本皮膚科学会 皮膚科Q&Aより
<https://www.dermatol.or.jp/qa/qa9/qa01.html>

● じんましんの原因は何ですか？

食物が原因になることもありますが、7割以上の患者さんが原因がよくわからない「特発性じんましん」です。特発性じんましんは疲労やストレスによって症状が悪化することが多いようです。

● 原因がわからなくても治せるのですか？

原因がわからなければ治せないの？と心配する方もいらっしゃるかもしれませんが、でもこのタイプのじんましんはお薬が効きやすく、治療によって治ることが多いのです。ですから「特発性じんましん」と診断されても、原因不明だからとあきらめずに、しっかりと治療を行うことが大切です。

● どんなお薬で治療するのですか。

主に抗ヒスタミン薬というお薬で治療します。大切なのは、症状が軽くなってもお薬を続けることです。じんましんの治療はあせらず、気長に。



● 新しいお薬

ほとんどの方は抗ヒスタミン薬で良くなりますが、中にはうまくいかないケースもあります。そんな場合に使用できる新しい薬剤「ゾレア」が登場しました。ゾレアは特発性のじんましんの炎症の元に存在するIgEをおさえる作用がある注射薬です。今までの治療薬を使っても残っている症状をコントロールして、活動的な日常生活を送ることを目指します。

少しでも気になったら、まず皮膚科を受診し、診断を受けることをおすすめいたします。